

7月のアーティスト・イン・レジデンス プログラム ～マックス＝フィリップ・アッシュエンブレナー滞在制作～

7月に城崎国際アートセンターで予定されている、アーティスト・イン・レジデンス・プログラムをお知らせする。

1 マックス＝フィリップ・アッシュエンブレナー『Theory of the Young Man』滞在制作

(1) 滞在制作

ア 期間

7月4日（月）～ 7月25日（月）

イ 内容・特色

- (ア) 若くしてスイスやドイツ、韓国の劇場で芸術監督などを歴任し、日本人演出家を国外で紹介する企画を手掛けるなど、高く評価されている国際的な演劇プロデューサー、マックス＝フィリップ・アッシュエンブレナーによる滞在制作
- (イ) プロジェクトには、第60回岸田^{きしだくにお}國士賞受賞の演出家タニノクロウ（庭劇団ペニノ^{きぐちのりゆき}主宰）や危口^{きぐちのりゆき}統之（悪魔のしるし主宰）といった日本人人気演出家が参加する。
- (ウ) 今回の滞在では、普段は演劇プロデューサーとして活躍しているマックス＝フィリップが、城崎や豊岡の住民、日本人演出家との対話や交流を通して、「社会における芸術の役割」について考察し、作品を創作する。
- (エ) 滞在制作を経て、9月にスイス・ルツェルンの劇場ジュードポールにて最終的な成果発表を予定している。
- (オ) マックス＝フィリップは、7月22日（金）に開催する「とよおかアート縁日」で、平田オリザ芸術文化参与との対談を予定している。

(2) 地域交流プログラム マックス＝フィリップ・アッシュエンブレナー『Theory of the Young Man』成果発表上演

ア 日時

7月24日（日）午後5時～

イ 場所

城崎国際アートセンター

ウ 料金

無料

エ 一時保育

7月15日（金）までに城崎国際アートセンターへ電話で申し込む
（対象：満1歳6カ月～就学前まで）

オ 申込み

電話またはメールで申し込む（代表者氏名、人数、連絡先が必要）
〔申込先〕城崎国際アートセンター
TEL 0796-32-3888（受付9:00～17:00 火曜休館）
e-mail info@kiac.jp

〈プロフィール〉

1 マックス＝フィリップ・アッシェンブレンナー (Max-Philip Aschenbrenner)

1981 年生まれ。フリー・レイセンがテアター・デア・ヴェルトで芸術監督を務めていた 2010 年にアッシェンブレンナーはアーティストック・コラボレーターとして勤務したのち、スイスのクリーンスにあるジュートポールの芸術監督に就任。その後、ウィーン芸術週間ではフリー・レイセンとともに企画に携わり、韓国・光州のアジアン・アーツ・シアターのドラマトゥルクを経て、16 年からベルリンのフォルクスビューネ劇場に所属している。

2 タニノクロウ (Kuro Tanino)

1976 年富山県出身。庭劇団ペニノの主宰、座付き劇作・演出家。2000 年医学部在学中に庭劇団ペニノを旗揚げ。以降全作品の脚本・演出を手掛ける。07 年、08 年と 2 年連続で岸田國土戯曲賞最終候補になる。国内外の演劇祭に多数招聘。15 年 3 月ドイツにて『水の檻』を発表。15 年 8 月に最新作『地獄谷温泉無明ノ宿』を発表。2016 年 3 月第 60 回岸田國土戯曲賞受賞。

〔問合せ〕 豊岡市環境経済部大交流課 TEL 0796-21-9016

事業内容については

城崎国際アートセンター TEL0796-32-3888